

ホース収納式シングルレバー 洗髪シャワー混合水栓

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

SF-800S型

SF-800SY型

SF-810SY型

施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

注意 … 「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ … 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ … 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

(禁止)

🔧 … 「分解してはいけません!」

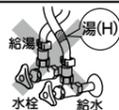
(分解禁止)

📢 … 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

(指示)

⚠ 注意

⊘ 湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。



⊘ 給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しないでください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。



⊘ 衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。



⊘ 水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
※ケガをしたり、故障・損傷の恐れがあります。



🔧 修理技術者以外の方は水栓を分解したり、修理したりしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



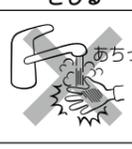
📢 給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。
※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



📢 フレキシホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側両方の止水栓を閉じてから行ってください。
※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。



📢 ヤケドの恐れがないところまで水圧変動を押えた配管設備にしてください。
※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。



📢 お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。



本製品の仕様と使用条件

| | | | |
|----------|---|--------|----------------------|
| 給湯器設定温度 | 85℃以下 | 使用可能水質 | 水道水および飲用可能な井戸水(※1) |
| 使用環境温度 | 【一般地用】 0~40℃ | | 但し、内部の水を凍結させないでください。 |
| | 【寒冷地用】 -20~40℃ | | |
| 給水(給湯)接続 | G1/2 | | |
| 圧力条件 | 0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) 給水圧力≥給湯圧力 ※2 | | |
| 取付条件 | 水栓取付穴:φ34~φ38mm、カウンター厚:5~20mm | | |

※1: 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※2: 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

| | |
|--------|----------------|
| 最低必要圧力 | A+0.06MPa(流動圧) |
| 最高圧力 | 0.75MPa(静水圧) |

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

測定条件は次の通りです。

- ・レバーハンドルは全開です。
- ・給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬期を想定)
- ・給水圧力はガス給湯器直前における流動時の圧力です。
- ・ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

| | |
|--------|--------------|
| 最低必要圧力 | 0.05MPa(流動圧) |
| 最高圧力 | 0.75MPa(静水圧) |

・給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa程度)に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

- 取付にはプラスドライバー、スパナ(対辺23)、プライヤー、専用工具「KG-9(対辺38)」「KG-32(対辺47)」が必要です。

止水栓と点検口を設けてください

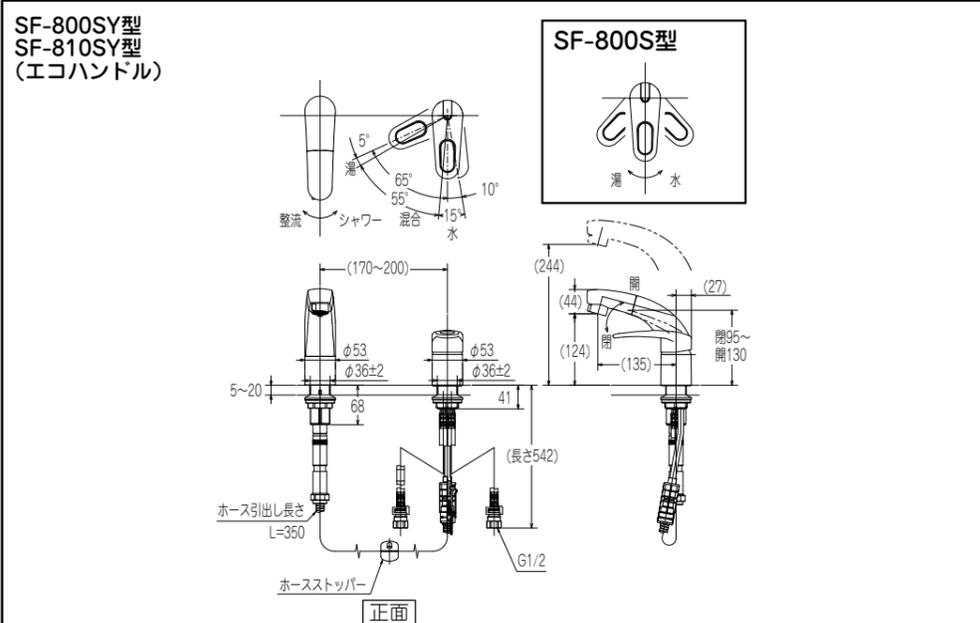
- 取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください**。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

- 給水は、上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には、使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等を当てて保護してください。
- 開梱・取付けの際には、商品の表面に傷をつけないように十分注意してください。
- 必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください**。
- 取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

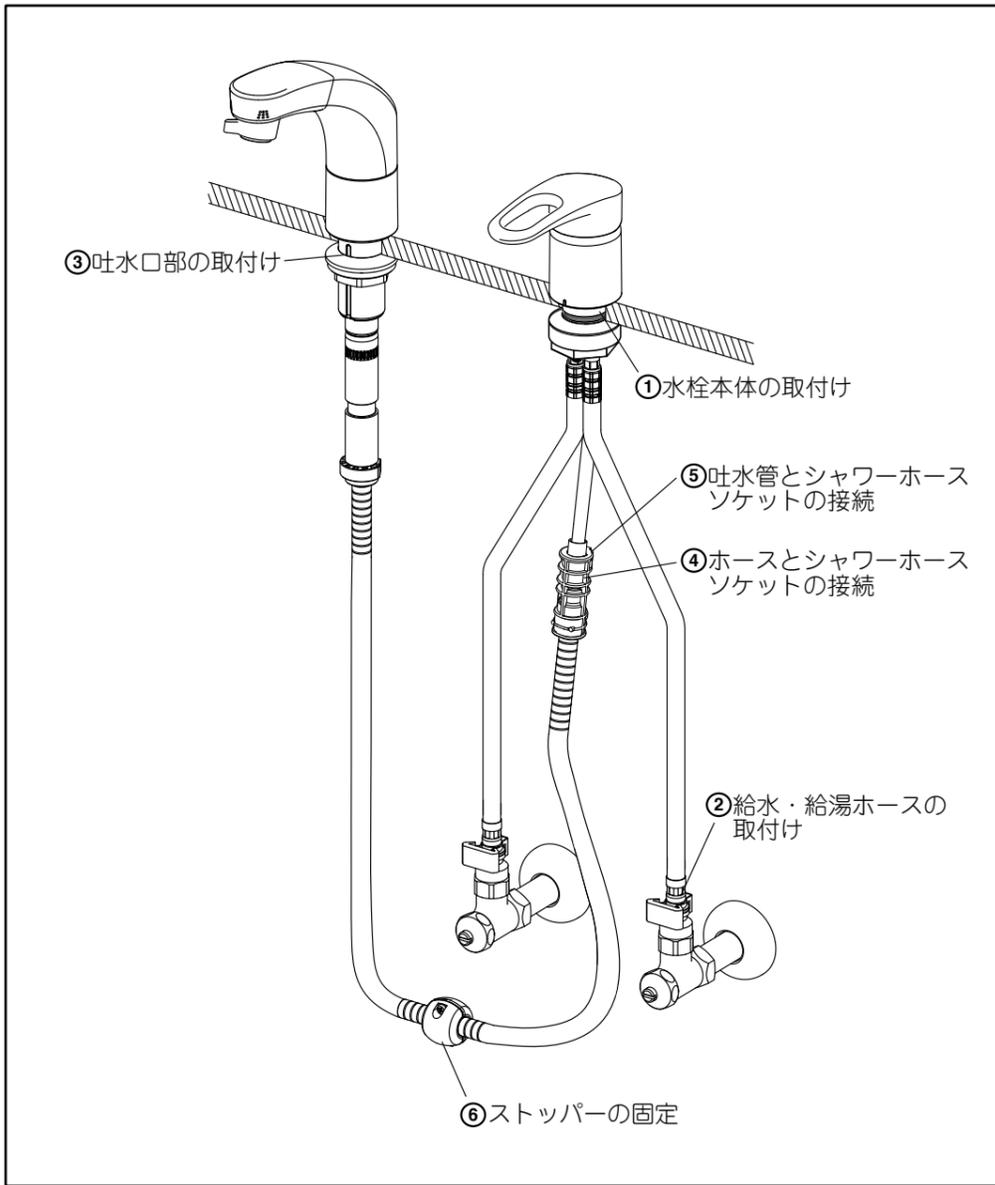
施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※カウンター穴あけ寸法は、φ36±2mmです。
カウンター厚は、5~20mmです。

施工手順



施工方法

1 水栓本体の取付け

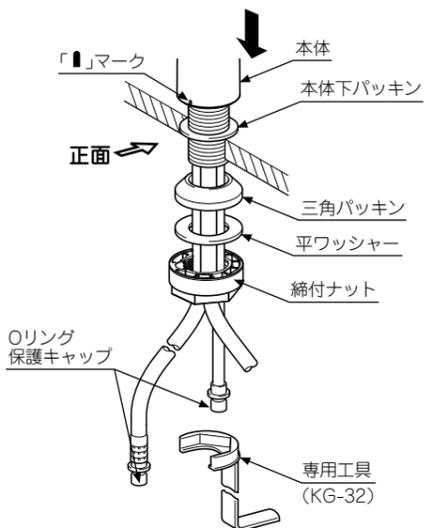
水栓本体を、取付穴の上から挿入し、「■」マークが正面になるように取り付ける。

注意

- Oリング保護キャップは、カブラーやソケットと接続するまで外さないでください。
※取り外すと、Oリングが傷ついてしまい、漏水の原因となります。
- 締付ナットは、本体のガタつきがないようにしっかりと締め付けてください。
※ガタつきがあると、漏水の原因となります。

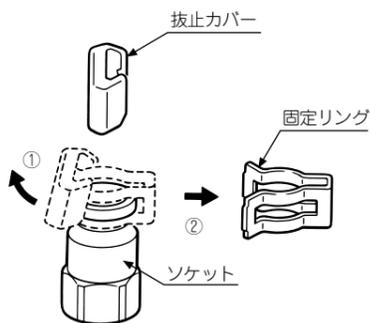
ポイント

別売の専用工具 (KG-32) を使用する。



2 給水・給湯ホースの取付け

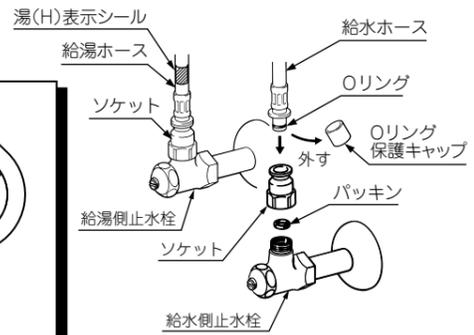
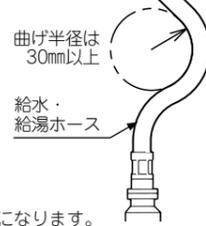
1. ソケットの抜止カバーと固定リングを外す。



2. ソケットを止水栓に固定し、ソケットに給水・給湯ホースを差し込む。

注意

- ソケットの中にパッキンが入っていることを確認してください。
- Oリングを傷つけたり、ゴミがみしないようにしてください。
- 給水・給湯ホースを差し込むときは、無理に曲げないようにしてください。
※注意しないと、漏水の原因となります。
- 給湯配管には、給湯ホースのみ接続してください。



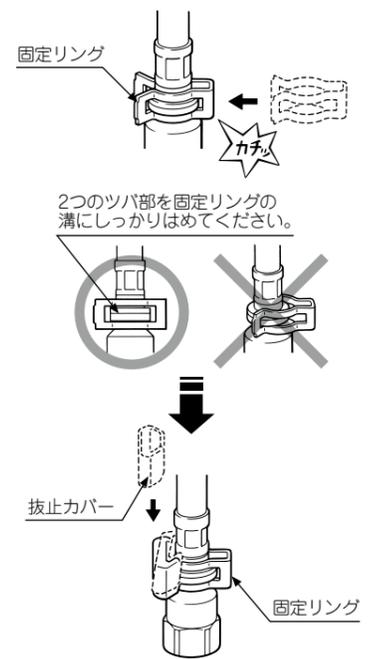
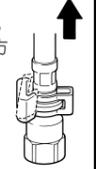
3. 固定リング、抜止カバーを、確実にはめ込む。

注意

確実にはめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止カバーが外れて、漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。

確認

確実にはめ込んでいること。
※給水・給湯ホースを矢印の方向に引っ張り、確認する。



3 吐水口部の取付け

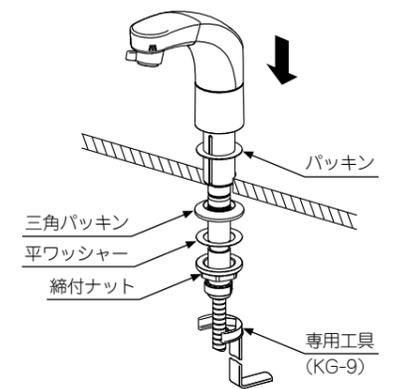
吐水口部を、取付穴の上から挿入し、固定する。

ポイント

別売の専用工具 (KG-9) を使用する。

注意

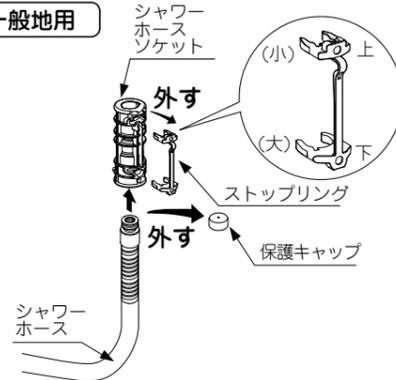
締付ナットは、本体のガタつきがないようにしっかりと締め付けてください。
※ガタつきがあると、漏水の原因となります。



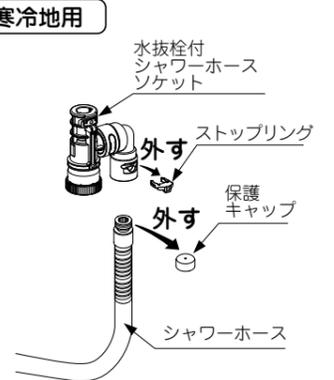
4 ホースとシャワーホースソケットの接続

1. シャワーホースをシャワーホースソケットに差し込む。

一般地用



寒冷地用



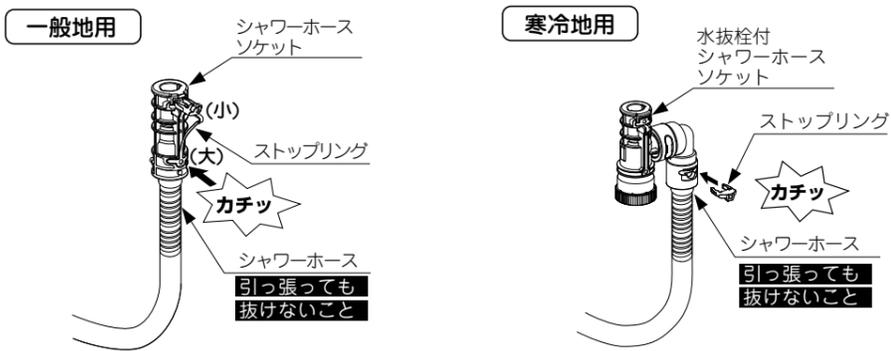
注意

ストップリングを紛失しないように注意してください。
※シャワーホースが固定できず、漏水の原因となります。

ポイント

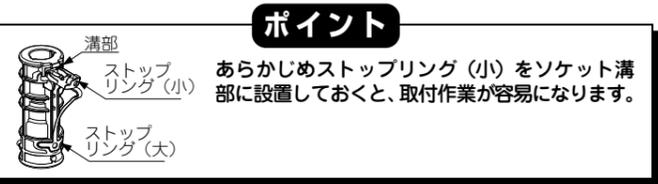
シャワーホースは奥までしっかりと差し込む。

2. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、シャワーホースを引っ張っても抜けないことを確認する。



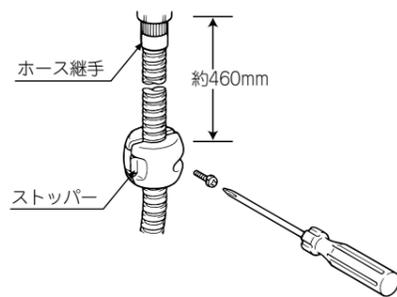
注意
ストップリングは、しっかりとめ込んでください。
※ストップリングが外れると漏水の原因となります。

ポイント
シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。



6. ストッパーの固定

シャワーホースのテープ位置に、ストッパーを固定する。



注意
ハンドシャワーをいっぱいまで引き出したときに、止水栓などが引っかかる場合は、ストッパーの位置を調節してください。引出長さの目安は、300~350mmです。

7. 水受タンクの設置

使用中に、ホースを伝わって水が浸入することがありますので、必ず水受タンクを設けてください。
※洗面化粧台に水受タンクが付属されていない場合は、別途用意してください。

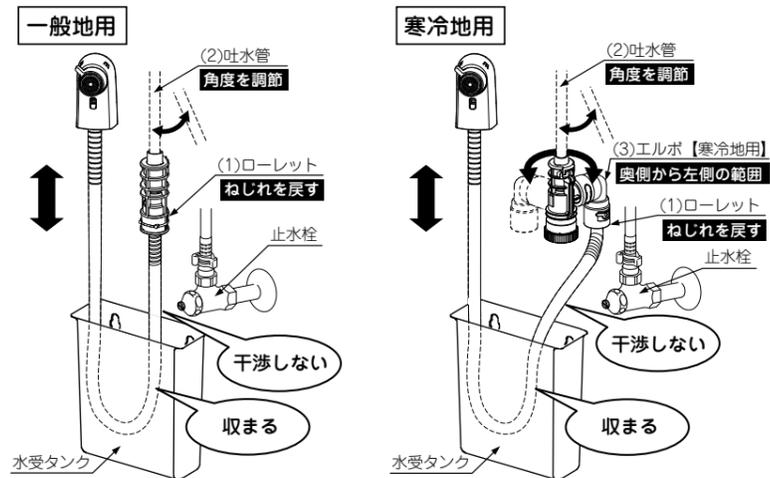
施工後の調節

1. ハンドシャワーの引出確認・調節

ハンドシャワーを出し入れした際、止水栓に干渉したり、水受タンクに収まらないと、製品の機能を十分に発揮できない恐れがあります。

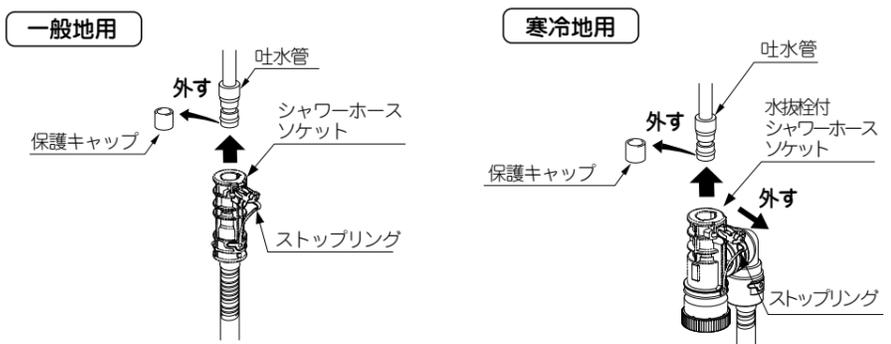
以下の要領で、確認・調節してください。

1. ハンドシャワーを数回出し入れし、次の2点を確認する。
 - ・シャワーホースが止水栓に干渉していないですか？
 - ・シャワーホースが水受タンクに収まりますか？
2. 止水栓に干渉したり、水受タンクに収まらない場合は、次のように調節してください。
 - (1) シャワーホースのローレットのねじれを戻す。
 - (2) 吐水管の角度を調節する。
 - (3) 寒冷地用の場合は、エルボの向きを奥側から左側の範囲にする。

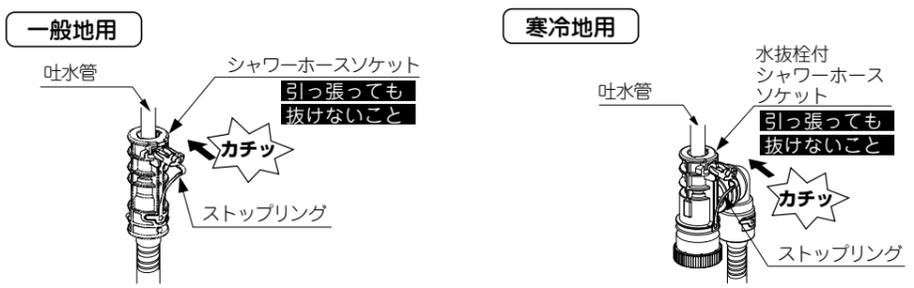


5. 吐水管とシャワーホースソケットの接続

1. シャワーホースソケットを吐水管に差し込む。

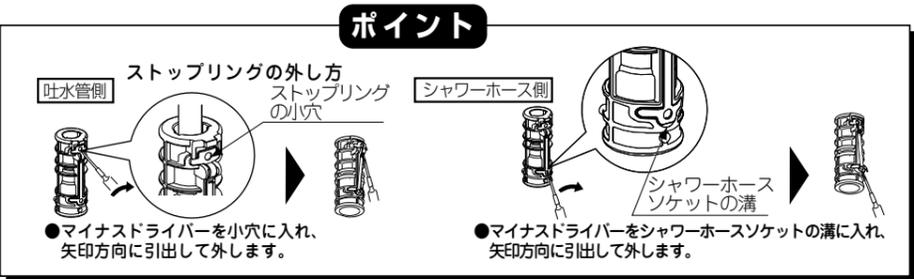


2. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、シャワーホースソケットを引っ張っても抜けないことを確認する。



注意
●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
●ストップリングがシャワーホースソケットの溝に納まっていることを確認してください。
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

確認
シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。



2. 通水確認

通水確認を、以下の要領で行ってください。

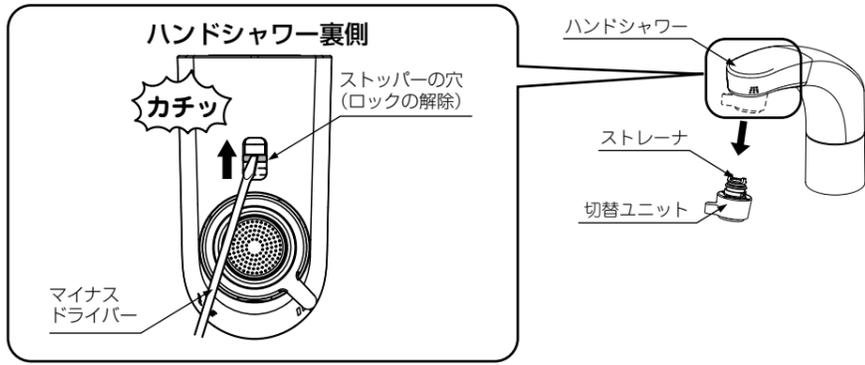
1. レバーハンドルが閉じていることを確認し、給水・給湯の止水栓を開く。
 2. 水側・湯側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水を確認する。
 3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認する。
-

切替ユニットの掃除

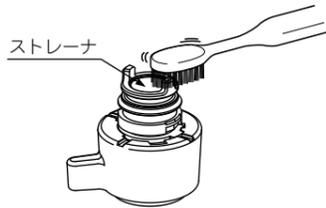
通水後は、必ず掃除をしてください。

※掃除しないとゴミが詰まり、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。

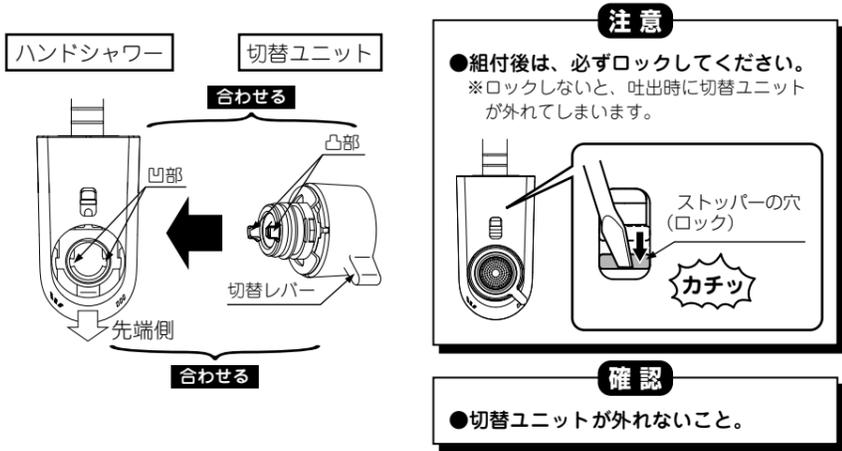
1. ハンドシャワーの裏側にあるストッパーのロックを外し、切替ユニットを外す。



2. ストレーナを掃除する。



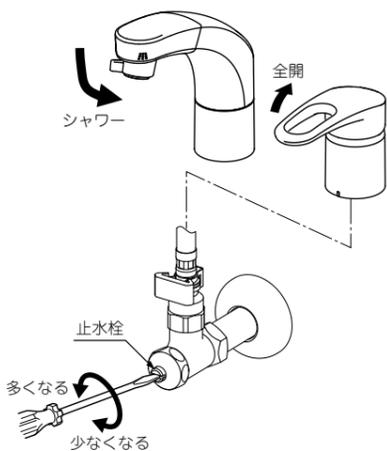
3. 切替ユニットの向きに注意しながら取り付ける。



流量の調節

不用意に全開にした場合の水の飛散を防止するため、湯水の止水栓を調節してください。

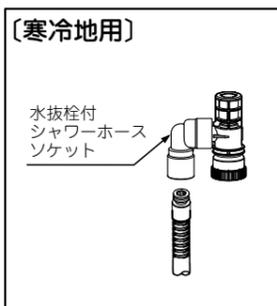
レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/minを越える場合は、止水栓で流量を調節してください。



注意
必ず、流量調節をしてください。
※水はねやオーバーフローにより家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

確認
水側・湯側それぞれの位置で流量を確認した後、レバーハンドルを回転し、最も吐水量が多い位置でも、水はねやオーバーフローが問題ないか、確認してください。

ポイント
●8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒。
●湯と水の流量が同じくらいになるように止水栓で調節する。



引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。

※点検箇所は、下図を参照してください。

| 現象 | 点検内容 | 点検箇所 | 処置 |
|--------------|------------------|------|---|
| 流量が少ない | 圧力は十分か？ | — | 「本製品の仕様と使用条件」の項参照。 |
| | 配管途中に大きな抵抗はないか？ | — | 抵抗となる障害物を取り除く。 |
| | 止水栓は十分開いているか？ | — | 止水栓を十分開く。 |
| | ストレーナにゴミ詰まりはないか？ | ① | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| 水が止まらない | ゴミかみはないか？ | ② | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| | キズはないか？ | ② | キズがあれば部品を交換する。 |
| | ゆるみはないか？ | ③ | 固定ナットを締める。 |
| ハンドルが右側に回らない | ハンドルの操作位置は正しいか？ | ④ | ハンドルキャップを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照） |
| 希望の温度が得られない | ハンドルの操作位置は正しいか？ | ④ | ハンドルキャップを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照） |
| | 圧力は十分か？ | — | 「本製品の仕様と使用条件」の項参照。 |
| | 流量調節はよいか？ | — | 「流量調節」の項参照。 |
| | ストレーナにゴミ詰まりはないか？ | ① | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| レバーハンドルがガタつく | ゆるみはないか？ | ⑤ | ねじをしっかりと締める。 |
| 吐水口がガタつく | ゆるみはないか？ | ⑥ | 締付ナットを締め直す。 |

ポイント

故障ではありません

- ・水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。
- ・この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じることがありますが、故障ではありません。

